

一月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「なぜ」(連記) 勝部乃り子選

何故を解く便利なスマホ無二の友 幸男

玄関でなぜか寂しいお出迎え 宏樹

初詣憑かれたようになぜか行く 充

なぜを解きするりとかわす処世術 義雄

大人さえ答の出ない子の疑問 よう子

米中がどこで狂ったかけ違い 哲子

ともかくも並んでみたが何の列 ミノル

セとパの差いつの間にやら段違い 千楽

ゴメンねと言えぬ男の意地愚か アキラ

介護ともデートともとれる腕組み 正清

どうしてなの別れる訳は無いはずよ 春代

赤い糸年月経るとなぜ黒に 登美

ワイン飲みひざ痛治るなぜだろう せいじ

なぜ鳴くのガラスに聞いて無返答 ちさと

アインシュタイン進化論には首傾げ 英二

秀 呑み込んだなぜが胃の腑を蹴っ飛ばす 広子

軸 夫に聞く言い渋ってる何かある 乃り子

お題「門出」 播本英二選

頑張れと旅立ち祈るじいとばば 春代

バツイチの門出に贈る紅いバラ 広子

入園式親子三人初々しい ミノル

よーいどん元気に揺れるランドセル 哲子

初もうでコロナで晴れ着ないている 登美

決めたこと孤独な門出後は見ず ミノル

未来地図抱いて息子が旅に出る よう子

お迎えも門出のうちと酒を酌む 広子

祝われず出たまゝ錦飾れない 乃り子

補助車もう要らないと子が巣立つ よう子

黄泉の国への門出に備えシュレツダー アキラ

秀 待ちきれず母のおなかを蹴る胎児 義雄

軸 人生の最後の門出南無阿弥陀 英二

お題「飲む」 阿部俊八選

傘寿には孫と行きます縄のれん 広子

屠蘇を飲むテレビはダイヤモンド富士 アキラ

カタカナ語意味のみ込めず電子辞書 幸男

もうアカン飲みに来てねとミナミから 充

安ワイン相手しだいで極上酒 登美

熱すぎて一度で飲みぬ君の愛 哲子

酒酒酒奈落の底で待つ仏 義雄

なるようになれと自滅の苦い酒 義雄

胃ぐすりをまず飲んでからバイキング せいじ

ラッパ飲みして満腹の大落暉 正清

酔い冷めの水の旨さに今日も飲む 乃り子

秀 今日を閉じ明日へ命つなぐ酒 アキラ

軸 水飲んで酔えれば役者にもなれる 俊八

自由吟(共選) 山神春代選

口よりも手が先に出る悪いクセ 千楽

年一度ときめく過去に会う賀状 哲子

でるわでるわおちよぼ口からうらみ節 ちさと

除夜の鐘帰省叶わずするそば 哲子

嫁姑コロナなくてもデイスタンス 英二

やきもちにそろそろ白髪まじってる ちさと

背伸びする私に影がそっぽ向く よう子

後十年生きる予定の服を買う 宏樹

年齢くって工夫がいるよ遊び方 せいじ

深呼吸今日を吐き出しあすを吸う よう子

丸い背にシャキッとせいと寒椿 広子

秀 聞き上手相づちも打つゴマもする 乃り子

軸 温い足借りて眠りについた夜 春代

自由吟(共選) 川崎ちさと選

引きこもり習慣となる寝正月 幸男

口よりも手が先に出る悪いクセ 千楽

深呼吸今日を吐き出しあすを吸う よう子

後十年生きる予定の服を買う 宏樹

年一度ときめく過去に会う賀状 哲子

底抜けた袋としらず貯めている 乃り子

政治家に思考停止の落とし穴 アキラ

温い足借りて眠りについた夜 春代

いくばくもないお命のおどり食い 正清

過去帳にちとやましくて灯をともす 広子

お水取り練行衆も命がけ 充

秀 小天狗が鼻の高さを競ってる 正清

軸 やきもちにそろそろ白髪まじってる ちさと

◎令和二年度年間優秀句より

不用意に投げる言葉のブーメラン よう子

喉元で止めた本音が顔に出る アキラ

今日もまたあれこれしよって縄ノレン 広子

本心は包んだまゝで期限切れ 乃り子

悲しみも小休止して遺産分け 登美